

山番号	山名 (別名) 蝦夷富士	登頂順	標高M
19	飯豊山	89/100	2,105
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2011.8.7 平成23年		65	8/5民宿「高見台」 8/6切合小屋
メンバー	主催	サンケイ旅行会	
単独	複数	人数	リーダー
	ガイド	男8 女5	上田氏
コース	8/6 林道終点5:35⇒10:05三国岳10:45⇒		
タイム	13:00切合小屋 <歩行時間7:25 標高差1,280m>		
	8/7 切合小屋4:36⇒7:30山頂7:45⇒12:28三国岳⇒17:05		
	17:05川入 <歩行時間12:30 累積標高差2,010m>		
交通手段	往路: 8/5JAL, バス	現地:	復路: 8/8バス, JAL

胃の2/3を失っている私は登山ではハンデが多い。特に食事に苦勞する。出された料理の半分も食べられない、揚げ物はすぐ腹を壊す、食べてすぐには横になれないと言った具合だ。それでも手術以降に残った28座は長丁場の縦走や、奥深く標高の高い南アルプスばかりだったので、当然ツアーでは基礎体力の弱い分皆苦勞した。更に飯豊連峰縦走路では卵掛けご飯だけなど食事は質素で、シュラフ寝た。北アルプスとは事情が違う。しかし朝日連峰を望む稜線歩きはそれらを忘れさせるほど楽しいものだった。

山番号	山名 最高峰は西吾妻山	登頂順	標高M
20	吾妻山	62/100	2,035
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2002.8.10 平成14年		56	
メンバー	8/7岩手山、8/8盛岡、8/9仙台、郡山		
単独	複数	ガイド	人数
		ツアー	8/10~14熱海(彩子夫婦も来る) 8/14神君と会ってから帰阪
同時登頂百名山	別々登頂	8/7の岩手山より	
	縦走登頂		
コース	9:44北展望台⇒11:30頂上13:15⇒北展望台		
交通手段	往路: 8/10郡山よりJR	現地: バス、ロープウェイ	復路: 8/10JRで熱海へ とリフト(往復)

ロープウェイで北展望台まで登ってからの木道歩きは天候が荒れた岩手山の直後のせいか気持ちの晴れる思いだった。ストック持つ手に留まった赤トンボとしばし一緒に歩いた。こうしてのんびり歩くのもいいが一人登山は自分なりのテーマと観察眼を持たないと事前の調べも漫然として発見や収穫に乏しい。結果、登ってからの反省は尽きない。山歩きの最中、私は足より頭の方が良く回転している。雑念ばかりで何時も普段の生活や仕事に付いての反省に落ち着く。わざわざ山に来てまで日常の事を考えるのはどうかと思うが、普段の生活環境では考えられない発想も浮かぶ。たまには大決心につながることも有る。いつも胸ポケットに小さいメモ帳を持っていてそれに書き込む。汗の染みたメモ帳の内容は山で素直に思った事、考えた事なので自分に正直だ。迷わず実行できる。

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
21	安達太良山	20/100	1,699
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
1997.3/23 平成9年		51	3/22くろがね小屋
メンバー	主催	ウメツアルパインガイド サービス	
単独	複数	人数	ガイド
	ツアー	男2 女1	梅津氏
コース	3/22 岳温泉12:15⇒14:30勢至平⇒14:20くろがね小屋		
タイム	3/23 小屋7:00⇒8:50鉄山⇒山頂⇒12:30登山口		
交通手段	往路: 3/21ANAで仙台	現地: 3/23バスで福島泊	復路: 3/24JRで東京⇒ ⇒JRで郡山~福島

梅津氏は個人ガイド事務所を経営。ガイドと言うよりテクニカルトレナー、真面目でマナーにも厳しく口数の少ないガイド

前もって八ヶ岳の赤岳鉱泉をベースに梅津氏のアイゼン、ストックの歩行訓練を一人で受けた。今回は豊中の歯科医と横須賀の女性との3人が参加、くろがね小屋に着いてから雪の斜面で梅津氏のピッケルを使った滑落停止訓練を受けた。ピッケルもアイゼンも身を守る道具だが使い様によっては自身を傷つけることも有る。くろがね小屋の食後は主人のギター伴奏で、ストーブを囲んでの楽しい歌声喫茶に変わったが梅津氏の性格には似合わない、案の定部屋にひとり籠っていた。山小屋にも居心地に相性がある。翌日は雪中行、鉄山と安達太良山のピークを踏んで岳温泉に下った。

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
22	磐梯山	96/100	1,819
登頂年月日		山頂天候	年齢
2012.6.9		☔	66
平成24年		➡	
メンバー		主催	毎日新聞旅行(東京)
単独	複数	人数	リーダー
	ガイド	男14 女13	栗田氏
同時登頂百名山		別々登頂	6/7東京ビッグサイトと武蔵高同窓飲み会へ。愛宕山東急イン泊。6/8実家、丸の内口から発夜行バス
コースタイム		縦走登頂	
八方台4:55⇒7:10山頂7:22⇒9:30八方台			
			<歩程4:35 標高差725m>
交通手段		往路:6/7JRで上京	復路:6/9バスで東京駅⇒JRで帰宅
		6/8夜行のバスで八方	
<p>高校の有志とのクラス会で上京するのに合わせて東京発の登山ツアーに参加した。今回は更に効率の良い夜行日帰りプランである。</p> <p>現地到着後バスの中で仮眠、雨の中八方台を5時前に出発したが7時過ぎにはあっけなく登頂してしまった。終始景色は見えず10分ほど居てすぐ下山。温泉に寄って夕方には東京駅というよくある効率的なパターンだった。それを承知の参加だし、こう云うニーズは確かにあるがピークハントだけが登山では無い。+αの企画がある登山ツアーは本当に少ない。単独登山ではできないような新聞旅行社らしい文化性や特徴のある登山スタイルの企画を期待したい。</p>			



山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
23	会津駒ヶ岳	63/100	2,133
登頂年月日		山頂天候	年齢
2002.8.21		☀	56
平成14年		8/20桧枝岐ますや旅館	
メンバー		主催	下山後、前泊の桧枝岐村の旅館で風呂を借り、バスの時間まで散策がてら愛宕神社にある伝統農民歌舞伎を演じる現役の小さな舞殿に立ち寄った。テレビでは見たが奉納歌舞伎をぜひ見た
単独	複数	人数	リーダー
	ガイド		
コースタイム		8/21 滝沢登山口6:25⇒9:25山頂9:35⇒12:00	
			滝沢登山口 <歩程5:35 標高差1,203m>
交通手段		往路:8/20JRで宇都宮⇒東武バスで	復路:日光 鳴沢ロッジへ
		現地:8/21東武バスで下今市へでレンタカーで	
<p>登りは11.5°Cと寒く、水場分岐でレインウェアを着た。頂上はガスで視界が悪く、慰めにいつも持参の頂上からのパノラマCGプリントで山並みのイメージをガスのスクリーンに投影して心に納めた。下りも小雨だったが、「天上の楽園」も「魅惑の尾根」も期待に違わず沢山の高山植物や池塘で慰めてくれた。一人登山なので写真も存分撮れた。明日の奥白根は晴れます様に。</p>			



山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
24	那須岳	50/100	1,915
登頂年月日		山頂天候	年齢
2001.10.14		☀	55
平成13年		宇都宮JR⇒黒磯バス⇒山麓	
メンバー		主催	逆コースで宇都宮からJRで帰宅
単独	複数	人数	
	ガイド		
同時登頂百名山		別々登頂	10/13の男体山より
コースタイム		縦走登頂	
ロープウェイ8:15⇒10:15頂上10:45⇒峰の茶屋			
			⇒山麓駅前<歩程3:55 標高差637m>
交通手段		往路:	復路:
<p>途中で鎖場がある。小学生のころ、父が職場のリクリエーションで那須岳に登った時の写真を思い出した。岩場で落ち掛けている父を同僚二人が手をつないで引き上げている。そのそばで数名の若い女性達が声援を送っているおふざけ写真だ。父らしい演出だ。服装が男は山スタイルと云うより草刈りに来た様な生活感が有り、女性は銀座を歩くようなオシャレをしていてそのミスマッチが面白い。</p>			

